

## ハッチョウトンボ (学名: *Nannophya pygmaea*)

【トンボ科ハッチョウトンボ属】



▲ 鮮やかな赤色の雄



▲ 地味な褐色の雌

ハッチョウトンボは、世界最小級のトンボです。体長は雌雄ともに17-21mmであり、1円玉程度の大きさしかありません。東アジア～東南アジアを中心に広く分布し、日本はその北限になります。日本では、本州～九州にかけての41府県に分布しています。主に、低地および低山地のミズゴケなどが生育する日当たりがよく、水の流入のある湿原、湿地などに生息しています。只見町でも大曾根湿原などを中心に成虫を6月～8月に見ることができます。成熟した雄は全身鮮やかな赤色をしている一方、雌は腹部に黄色や褐色の縞模様があるので、簡単に見分けることができます。また、雌雄ともに翅の根元付近が綺麗な橙黄色になります。

ハッチョウトンボは環境省が実施する自然環境保全基礎調査の中で良好な自然環境が保たれているか評価するための「指標昆虫」とされています。町内の生息適地には、多くの個体が確認できるため良好な生息環境が残っていることがわかります。しかし、全国的には生息地の開発、乾燥化や水質汚染により減少してきており、各地で保護活動が行われています。そのような中で只見町でも、「只見町の野生動植物を保護する条例」に基づき町指定貴重野生動植物種に指定し、保護・保全を図っています。

### 特別企画展 「植物学者・河野昭一の世界～その生涯と只見」

期 間：開催中（9月2日(月)まで）

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

お申込み・お問い合わせはブナセンターまで ☎0241-72-8355

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください